

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

部課名	福祉部	高齢福祉課
施設名称	[25] 東京都台東区立くらまえ高齢者在宅サービスセンター	
指定管理者	社会福祉法人東京援護協会	
選定方法	■公募 □継続特例 □非公募	
指定期間	H26. 4. 1	～ H31. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区蔵前2-11-7 [規模] 延べ床面積 3,937.96㎡のうち574.55㎡ 鉄筋コンクリート造地上7階地下2階のうち6階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員30名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] ■有 □無 □その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 12名（内訳…次長（1）、相談員（1）、介護職員（常勤5、非常勤3）、看護職員（常勤1、非常勤1）

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	10,498,000	10,498,000	13,213,000	13,213,000
	利用料金収入	76,190,000	78,299,121	74,631,000	84,955,248
	その他収入（利用者等外給食費収入）	2,794,000	0	4,349,000	0
	計	89,482,000	88,797,121	92,193,000	98,168,248
支出	人件費	58,495,000	55,840,975	59,821,000	56,488,394
	光熱水費	3,617,000	3,903,477	4,469,000	3,481,263
	維持管理費（委託料・賃借料）	15,196,000	14,589,119	15,196,000	14,710,620
	修繕費	657,000	243,923	657,000	462,456
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	11,517,000	10,934,998	12,050,000	11,512,654
	計	89,482,000	85,512,492	92,193,000	86,655,387
収支			3,284,629		11,512,861

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	311	310	312	311
定員	人	30	30	30	30

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率	%	91	84.5	83.3	90.9
利用者数	人	8,500	7,854	7,800	8,480

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

近隣事業所と連携を図りながら、入浴希望の利用者を積極的に受け入れ、新規利用者を獲得に努め、利用者が増加した。また、地域貢献の一環として、地域の高齢者の家族を対象に「くらまえサロン」を月1回開催し、在宅ケアに必要な知識の普及に努めるなど、地域に密着した施設としての役割を果たした。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を遵守し、事業計画書、報告書等も適切に作成提出している。就業規則の従業員への周知や、出退勤の把握および記録による労働時間の管理など労働環境の整備を図っている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	近隣事業所と連携を図りながら、入浴希望の利用者を積極的に受け入れし利用者が増加した。また、地元町会を中心に連絡調整を適切に行い、協力相談員、近隣学校、幼稚園、家族会、ボランティアとの連携を推進する等、地域福祉の向上に努めた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	感染症委員会や衛生委員会を毎月実施し、衛生管理に努めている。また、職員が、毎日自主検査表を用いて危険個所の確認を行うなど、適切に施設の維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	近隣事業所と連携を図りながら入浴希望の利用者を積極的に受け入れる等、新規利用者の獲得に努め利用者が増加した。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者の増加に伴い、介護報酬収入が昨年より増加した。前年に続き収支はプラスであり、予算は適切に執行されている。

(6) 優れた取組み <b>《加点項目》</b> <small>※点数上限：10点</small>	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価	
極めて良好 (110~101) ・ 良好 (100~91) ・ 適正 (90~70) ・ 改善指示 (69以下)	
<b>良好</b>  ( 100 / 110点)	<b>【所見】</b> 近隣事業所と連携し、入浴希望者を積極的に受け入れするなど利用者の要望に応じながら在宅高齢者の福祉向上を図った。また、高齢者の家族のため、在宅ケアの知識普及に努める等、地域福祉の拠点としての役割を果たしている。
	<b>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</b>